

総務部参事 通信衛星を利用して情報を得ていく、街角情報ステーションは、現状では研究段階です。人口規模で本市に合うのかどうか、設置費用を含めた財政負担はどうなのかといった課題もありますので、今後の推移を見させていきたいと思います。

雨水・地下水を活用した給水拠点ともなる庁舎を

地下水の汲み揚げ量を規制する施策展開により地盤沈下抑制の効果が進んだが、反面都内の地下水位は4年前と比べ、最大で約60m上昇。庁舎の耐震化または建替えを進める中、雨水・地下水を活用し節水及び非常時の給水拠点としての庁舎機能を提案します。

総務部長 東日本大震災の教訓からも、災害時には防災の拠点施設が十分機能することが、何よりも重要となりますので水資源循環システムは、求められる機能であると認識しています。

潜在糖尿病等を早期に発見・支援する体制を

足立区薬剤師会は、「指先へモグロビン測定」を実施し糖尿病患者の減少に取り組んでいる。本市では特定検診に基づく特定保健指導を実施し、早期発見・支援を進めているが、本市の見解を伺います。

健康福祉部長

足立区に問い合わせたところ区としての支援、かわりなどは現在特段なく、区内10か所の薬局が無料で検査しています。検査のアプリとしては有効な手段と思いますが、医師会、薬剤師会の先生方にご意見を伺ってみましたと考えています。



公明党 鈴木たかし

横浜への直通運転を生かしたシテイセールスを

西武池袋線と副都心線・東横線との相互乗り入れにより、清瀬と横浜中華街は一本の線で結ばれました。これを機に、

本年のひまわりフェスティバル、市民まつり、そしてスポーツ祭東京をアピールするイベントを横浜駅構内で開催し、清瀬の良さが収まっている「るるぶ・清瀬特集号」を配布してはいかがでしょうか。

企画部長

西武鉄道が発行しています「花さんぽ」というリーフレットやホームページに、ひまわりフェスティバルを掲載していただけないか、お願いしたり、横浜市にひまわりフェスティバルのPRにご協力いただけないかなど、相談をしてみたいと思います。

清瀬の newName としてケヤキ並木にライトアップを

「けやき通り」をより観光名所として充実させるため、ギヤラリーやケヤキそのものをライトアップしてはいかがでしょうか。

都市整備部長

けやき通りは交通量の比較的多い道路であるため、ライトアップ時にわき見運転による事故など、通行する車両にも支障が出ないとも限りませんので、まずは

先進市の調査や、公園や緑地などのライトアップの可能性を研究したいと思います。

子どもたちの手による公園施設の拡充を

予算不足により公園施設の拡充が遅れている現状、市内の小中学生に廃品を使つての遊具作成や、塗装など施設整備をお手伝い頂いてはいかがでしょうか。全てを大人が用意するのはなく、子どもたちが自分で物を作り、直すことで、安全と危険、公共物を大切にする気持ちを育くむ地域学習につながると思います。

都市整備部長

子どもたちの手による公園施設の拡充については、ボランティアの活用と合わせて、地域の学校や子育てサークル、自治会を巻き込んだワークショップや公園アドプト制度の活用などができないか、今後の研究課題とさせていただきます。



公明党 斉藤あき子

実践に即した防災訓練について

東日本大震災以降、地震の活動が頻発しています。今こそ実践に即した「命を守る防災訓練」が必要です。「清瀬地域防災計画」(素案)に基づき、今後の防災訓練や避難訓練の考えを伺う。また、避難所体験ゲーム「HUG」を取り入れる事を要望します。

待機児童解消について

横浜市では、全国一多かつた待機児童を2年間でゼロにしました。そこで、横浜市の取り組みが参考になります。父母、保護者らの状況を丁寧聞き、保育所や一時預かり所など、個々のニーズにあった提案のできる保育コンシェルジュの配置について伺う。

高齢者の交通安全対策について

「きよバス」に高齢者の交通事故防止を訴えるラッピン

グを施す事や、市内危険個所に看板の設置を要望します。また、「交通安全教育」を老人クラブや高齢者が集うサークル等で実施する事で、交通安全意識の向上につながると思います。見解を伺います。

都市整備部長 コミュニティバスへの事故防止のラッピンについては、費用対効果を考えると難しいと考えます。また、「交通安全教室」については、東村山警察署と調整し開催を検討していきます。

子ども家庭部長 各種の子育て支援サービスなどの相談や情報提供等は、子育て支援課と子ども家庭支援センターな

どが連携してきめ細かな対応を行ってまいります。現在の相談件数などから現状の体制で行っていききたいと思います。



公明党
西畑 春政

風疹予防接種について

風疹の流行が続いています。妊娠初期の女性がかかると胎児の目・耳・心臓などに先天性の障がいが起こる恐れがあります。風疹流行の原因は、30～40代の男性の2～3割が風疹ウイルスへの免疫を持っていないことです。ワクチン公費助成の現状と周知徹底を求めます。

健康福祉部長 風疹の予防接種費用の一部助成を4月15日より実施しています。5月末までに182人の方が申し込んでいます。風疹の流行が継続していますので、国等の動向を見ながら、広く市民に注意喚起を行っていききたいと思います。

自治体向け「指針案」について

地震などの災害に備え、各自治体が整備する防災・復興計画に女性の視点を反映させるため、内閣府が指針案をまとめ公表しました。東日本大震災の教訓をもとに、女性の立場からの防災対策の強化が前進します。見解を求めます。

総務部参事 女性の視点について

総務部参事 女性の視点については、議会等も含めご意見を頂戴する中で、その重要性を認識しているところです。地域防災計画の素案を策定いたしました。あわせて作成しました避難所運営の手引き案を含め、女性の視点を取り入れさせていただきました。

子どもの貧困対策について

子どもの貧困への対策が急がれています。17歳以下の子どもの相対的貧困率は、調査開始以来最悪を記録しました。非正規雇用で働く保護者の増加が原因と考えられており、ひとり親世帯への対策は喫緊

の課題です。子どもの貧困について、また対策も伺います。

子ども家庭部長 現在、清瀬市では、ひとり親家庭に対しましては児童扶養手当、児童育成手当の給付、また、医療費の助成を行っています。今

国会では、子どもの貧困対策の推進に関する法案が審議されていますので、今後の動向に注視していきます。



風・生活
者 ネット
宮原 理恵

学童クラブの育成環境について

耐震化工事に伴い、エアコンのない教室での育成で熱中症が心配されるが、対応の状況は。職員の処遇や権限、連絡体制について。現場の課題を共有する場が必要ではないか。

子ども家庭部長 気温が高くなる時間帯は、エアコンのある部屋で育成できるように調整しています。平成22年度から嘱託職員の育成にしました。

各学童クラブに連絡調整役の主任を配置し、子育て支援課、学校及び保護者等との連絡体制をとっています。

子ども・子育て事業計画について

学童保育は歴史的に、公的な責任が不明確で最低基準に拘束力がなく、国の予算も不十分だった。2012年成立

(2015年施行)の「子ども・子育て支援法」で大幅に拡充する予定。清瀬の「子ども・子育て会議」で学童についてしっかり位置づけ事業計画に盛り込むことを求める。

子ども家庭部長 学童クラブに関しまして、子ども・子育て支援事業計画に盛り込むこととされています。その内容は国から示される策定指針に準拠しながら、清瀬市子ども・子育て会議で審議、検討されることとなります。

地域防災計画について

女性や子育ての視点を具体的に盛り込むこと、商店会な

どの地域コミュニティとの協定、避難所の負担を減らすために「自宅避難者」への情報や物資の提供を計画に位置づけることなどを求める。また、放射能漏れ事故への対応をし

つかり位置づけて欲しい。

総務部参事 地域防災計画の素案や避難所運営の手引きなどに、女性の視点を取り入れさせていただきました。また、自宅避難者への支援対策につ

いても記載されています。地域コミュニティとの連携は、関係団体と協議して締結していききたいと思います。



風・生活
者 ネット
小西 みか

一人ひとりを尊重する清瀬版子どもの権利条例を

国が国連子どもの権利条約を批准して約20年になるが、

いじめ、虐待など子どもを取り巻く環境はいつこうに改善されない。子どもの人権を保障する実施主体は地域であることから、各自治体における

条例が必要である。また条例制定にあたっては、子ども自身はもとより、大人にも子どもの基本的人権を尊重する意識の醸成が必要だ。本市における条例制定の考えを伺う。

子ども家庭部長 平成25年度

は、子どもの権利や子ども権利条約などの認識を深めるという意味で講師を招いて、さらに勉強会を進めていきたく

子どもの主体性と人権を守る相談体制の構築を

子どもの人権尊重の取り組みをより一層推進するためには、相談体制とともに、子ども自身が人権侵害などを訴え相談できる第三者機関、子どもオンブズパーソン制度が必要と考えるがいかがか。

教育部参事 総合相談支援センターそのものが教育の機関と福祉の機関、子育ての機関さまざまな機関が共同して運営する形で、構想をしていま

す。このことでオンブズパーソンに必要な第三者的機関、機能が担保されていると考えます。

いじめという人権侵害をなくすための学びなおし

いじめの解決に向けては、学校批判ではない、教育への市民参加を進めるとともに、暴力をコミュニケーション手段として学び取ってしまった子ども自身の学びなおしが必要と考えるが市の見解を伺う。
教育部参事 本年度、第二中学校におきまして、湘南DVサポートセンターの瀧田代表を講師として、いじめ防止プログラムを試行することとなっております。教育委員会としましては、今後の取組を見きわめ、成果と課題を明らかにしていきたいと考えています。



風・生活者ネット 石川 秀樹

外国人住民に対する行政からの情報提供

清瀬に在住する約千人の外国人住民は、一時的な滞在ではなく定住志向の強い人々である。しかし日本語の壁と日本社会の生活習慣に適応できず、能力を十分に発揮できない人が多い。行政情報の提供・伝達について、現状と課題をどうとらえているか。

企画部長 外国語表記のご案内を用意しているものは、国民健康保険の手引き、ごみの出し方の冊子、図書館利用案内などです。情報提供が専門用語や行政独特の表現が多くわかりにくいような場合は、わかりやすさを徹底していく必要があると考えています。

多文化共生の地域づくりの指針を

外国人の問題については国になんの法律も制度もないた

め、すべて現場の自治体が一般財源で対応しなければならぬ。自治体によって格差が生じないようにするためには、行政プランとして「多文化共生推進計画」を定めて、外国人の諸課題を計画的に実施していくべきだ。

企画部長 外国人の方がどういった問題を持っているのか、本市としてどういう施策を推進していく必要があるのか、外国人の方々などからご意見を伺う場を設けたいと考えています。その上で、多文化共生推進プランの策定について検討していきたいと思えます。

外国につながる子どもの課題と支援

本人または保護者が外国籍で、外国の言語・文化の強い影響下で育った子どもは、日本の生活習慣・文化に不慣れであるため、特別な支援体制が必要と考える。これら外国につながる子どもの支援に対する基本的な考えを問う。

教育部参事 本市では、子どもは全て支援を要する存在で

あると捉えまして、個々の課題に応じた支援が適切に行われる教育の充実を目指しているところです。外国につながる子どもについても、当然支援の対象、支援を要する存在であると認識しています。

可決した主な議案

▼平成25年度清瀬市一般会計補正予算(第1号)

清瀬市一般会計補正予算は、1千850万円が追加され歳入歳出予算の総額は26億8千850万円です。

歳出の主なもの

① 総務費では、竹丘第1・第2学童クラブの改修事業に係る実施設計費、工事監理費及び工事請負費で1千400万円の増額補正です。

② 民生費では、生活保護基準の改正に伴うシステム改修に200万円の増額補正です。(国庫支出金から補助率10分の10で200万円)

③ 衛生費では、「風しん」予防接種に係る経費250万円の増額補正です。(都支出金か

ら補助率2分の1で125万円)
▼清瀬市新型インフルエンザ等対策本部条例
制定の理由

新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定により、市が設置する清瀬市新型インフルエンザ等対策本部の組織を規定するため条例を制定しました。

▼清瀬市子ども・子育て会議設置条例
制定の理由

子ども・子育て支援法に規定する合議制の機関として、新たに清瀬市子ども・子育て会議を設置するため、条例を制定しました。

▼清瀬市国民健康保険税の一部を改正する条例
改正の理由

保険税の減額基準を改めて被保険者の負担軽減を図れるようにするため条例を整備しました。

▼清瀬市道の路線の認定について
認定の理由

都営清瀬中里四丁目アパート外周道路の譲渡等並びに開

発による無償譲渡により、起点及び終点の変更が生じるため、市道の路線を認定しました。

▼清瀬市監査委員の選任について
識見を有する者及び議員のうちから選任する監査委員として、次の方が同意されました。

代表監査委員 麻生 眞一郎

議員選出監査委員 西畑 春政

▼清瀬市農業委員会委員の推薦について
議会推薦の農業委員会委員として、次の議員の推薦が決定されました。

清瀬市農業委員会委員 森田 正英

▼人権擁護委員の推薦について
平成25年9月30日付で任期満了となる委員の後任に、次の方を推薦したいとする議案が市長から提出され、議会はこれに同意しました。

人権擁護委員 丹羽 英明

▶提出された議案等の結果

第2回定例会（6月）で審議された議案等の結果（○：賛成 ×：反対）

▶市長提出議案

議案番号	件名	清瀬自民ク	共産党	公明	風・ネット	議決結果
議案第34号	専決処分の報告について（清瀬市市税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	承認
議案第35号	専決処分の報告について（清瀬市都市計画税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	承認
議案第36号	平成25年度清瀬市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	可決
議案第37号	清瀬市新型インフルエンザ等対策本部条例	○	○	○	○	可決
議案第38号	清瀬市子ども・子育て会議設置条例	○	○	○	○	可決
議案第39号	清瀬市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
議案第40号	清瀬市道の路線の廃止について	○	○	○	○	承認
議案第41号	清瀬市道の路線の認定について	○	○	○	○	承認
議案第42号	清瀬市立清瀬第五中学校校舎大規模改造工事（建築）請負契約	○	○	○	○	可決
議案第43号	清瀬市公共下水道柳瀬川右岸5号雨水幹線整備契約	○	○	○	○	可決
議案第44号	清瀬市監査委員の選任について	投票による				同意
議案第45号	清瀬市監査委員の選任について	投票による				同意
議案第46号	人権擁護委員の推薦について	投票による				同意

▶議員提出議案

議案番号	件名	清瀬自民ク	共産党	公明	風・ネット	議決結果
議案第7号	「慰安婦」に関する発言に対する決議	○	○	○	○	可決
議案第8号	HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）の接種事業の中断と副反応被害者に対する救済体制整備を求める意見書	○1 × 6	×	×	○	否決
議案第9号	労働法制の改悪に反対する意見書	×	○	×	○	否決
議案第10号	「村山談話」の見直しに反対する意見書	×	○	×	○	否決

▶請願・陳情

請願・陳情番号	件名	清瀬自民ク	共産党	公明	風・ネット	議決結果
陳情第1号	婚姻歴のない母子家庭の母についても税法上の「寡婦」とみなし控除を適用し、窮状を救うため手を打つように求める陳情（継続審査 平成25年第1回定例会）	×	○	×	○	不採択
陳情第3号	低価格競争の是正で公共工事の品質を確保し、建設労働者の賃金引き上げを求める陳情	×	○	×	○	不採択

▶報告

報告番号	件名	清瀬自民ク	共産党	公明	風・ネット	議決結果
報告第2号	平成24年度清瀬市繰越明許費繰越計算書	—	—	—	—	了承

※表中の会派の名称及び議員名
 清瀬自民ク＝清瀬自民クラブ（森田正英・渋谷けいし・渋谷のぶゆき・石井秋政・友野ひろ子・中村清治・斉藤正彦 7人）
 共産党＝日本共産党（原田ひろみ・深沢まさ子・佐々木あつ子・宇野かつまる 4人）
 公明＝公明党（鈴木たかし・斉藤あき子・西上ただし・西畑春政 4人）
 風・ネット＝風・生活者ネット（小西みか・宮原理恵・石川秀樹・斉藤実 4人）
 ※（ ）内の数字は、会派所属議員数を示したものです。ただし、清瀬自民クラブについては、議長を除いた数です。